

もつと

みんなが住みよい加古川に!

公共施設の統廃合で、昨年度は平荘湖アクア交流館が閉鎖。そして、今年は両荘地区の小・中学校3校の統合再編へ準備が進められています。また、こども医療費を中学校卒業まで無料にするその引き換えに、障がい者医療助成の所得基準を世帯単位にして助

成を厳しくし、さらに60歳以上の4級障がい者助成の切り捨てを決めました。

市民の健康・スポーツや子どもたちの教育環境が経費削減の対象になっています。



ごみ袋指定は市民合意を得られた?

市民に「ごみ減量を求める」として「ごみ袋の指定」を12月議会に出しました。

平成30年度の市民一人当たり一日716グラムの実績を、全国平均702グラムに減らすとしています。

市は「指定ごみ袋を市民が購入することで排出量が5%減る」としています。

燃えるごみの総量は令和2年度の8,953.3トンに対し令和6年度には8,849.8トンで、ごみの発生量はほとんど変わりません。

8月28日から行われた「ごみ袋指定」に関するパブリックコメントの実施結果では、応

募人数126人、意見総数302件と多くの意見が集約されました。なかには、推進意見もありましたが、多くの意見が反対や現状維持を求めており、この市民の声を受け止めることを強く求めます。

市民に負担を求める「ごみ袋指定」ではなく、製造元から出てくる包装を変えてごみの発生する条件を少なくする努力を国や自治体に求めます。

出たごみは徹底して分別し、資源化する政策が求められます。ゴミゼロウエイストこそを目指すことが必要ではないでしょうか。



ゴミステーションを管理する町内会

共産党議員団	反対
志政加古川	
創政会	
公明党議員団	
市民クラブ	賛成
笑創会	

2020年
7月から

こども医療費 中3まで所得制限なしに!

小学校4年生から中学校3年生までのこども医療費助成について、所得要件を廃止し、中学校3年生以下すべての子どもの医療費に係る自己負担が無料になります。

これまで党議員団は中学校3年生までの完全無料化を求めてきました。みなさんの声が実現する大きな力となりました。これからは高校卒業までの無料化を求めていきます。



反対!

議案第60号・61号
加古川市特別職、
加古川市議会議員の給与改定に反対!

60歳以上の4級障がい者 医療費助成の廃止は撤回を!

こども医療費の所得要件を廃止する議案とともに、60歳以上の4級障がい者の医療費助成が廃止、医療費助成の所得要件の見直しも提案され賛成多数で決定されました。

平成30年度での60歳以上の4級対象者は1,917人、所得要件の見直し対象者は32人となっており、4級では年間1人あたり平均で7万8千円、所得要件見直しでは同じく、平均で15万円の負担がかかる可能性があります。これらの負担増で、受診回数を減らすなどの受診抑制がおこる可能性がでできます。「障害者差別解消法」を進めようとする市が、障害者医療を後退させていることは大きな矛盾ではないでしょうか。党議員団は現行通りに戻すよう求めていきます。



否決

請願第6号
市街地の公共交通空白の解消・
野口北部地域にミニバス、デマンドタクシーの運行を求める請願

市民の不便の実態、市民満足度の低さ、他市との施策の比較を示し、公共交通の拡充の必要性を強調するとともに、財政調整基金があり、財政的にも可能で、買い物・医療難民対策だけでなく、健康寿命の応援にもなると主張。会派としては党議員団だけが賛成しました。

請願第7号

否決
所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について

家族従業者は配偶者86万円、その他50万円の控除だけで最低賃金以下の評価、社会保障や行政手続きの面などで不利益を受けています。国連から是正勧告を受け、ジェンダーギャップ指数が最下位クラス、政府も所得税法見直しを検討していることを紹介し、賛成討論しましたが賛成少数で否決となりました。

請願第8号

継続
国指定難病医療費助成制度の改善について

国は難病指定の医療費助成で「軽症」認定となった患者を対象外にしました。すべての指定難病患者を助成の対象とするよう、国に対して市議会からも求めてほしい旨の請願内容です。

この請願は継続審査となり、2020年3月議会で結論を出す予定になりました。